

1 事業名	いきいき自然体験キャンプ
2 期日	平成25年9月24日(火)～27日(金) 3泊4日
3 場所	国立沖縄青少年交流の家
4 募集定員	50名程度
5 参加人数	56名(内訳 小学生2名・中学生32名・引率22名)
6 講師	植前 和代(心理カウンセラー) . . . . .カウンセラー 照屋 寛信 . . . . .クラフト・野外活動 森 有紀子 . . . . .スノーケル 岩元 慶吉 . . . . .星空観察 新里 武光 . . . . .追い込み漁 新里 武広 . . . . .追い込み漁 我喜屋元作 . . . . .追い込み漁

## 7 実施プログラム

1日目	9月24日(火)	
	13:30～13:50	オープニング
	13:50～15:00	テント設営
	15:00～17:00	ふれあいレク・班別ミーティング
	17:00～19:30	火おこし・野外炊事①・夕食(カレー)・片づけ
2日目	9月25日(水)	
	7:00～7:30	朝のつどい
	7:30～8:00	朝食(軽食)
	9:00～12:00	海洋研修①カヌー・スーパーフロート・スノーケリング オープンカヤック・水泳・クラフト
	12:00～13:00	昼食(弁当)
	13:00～15:30	海洋研修②(選択プログラム) ※海洋研修①より選択
	17:00～19:30	火おこし・野外炊事②・夕食(シチュー)
3日目	9月26日(木)	
	7:00～7:30	朝のつどい
	7:30～8:00	朝食(軽食)
	8:00～9:30	テント撤収・清掃・追い込み漁準備
	10:30～11:30	追い込み漁
	11:30～14:00	野外炊事③ 昼食(おにぎり・魚汁)
	18:00～19:00	夕食(食堂)
	20:00～21:00	星空観察
4日目	9月27日	
	7:00～7:20	朝のつどい
	7:30～8:00	朝食(食堂)
	9:00～10:30	お土産作り(クラフト)
	10:30～11:00	エンディング

## 8 事業の様子



テント設営



ふれあいレク



火おこし



班ミーティング

## 9 参加者の声

- ・自分が成長したことは、みんなと素で話せたこと。気づいたことはみんなで協力することが大切なこと。
- ・風景に感動できたり、たくさんの人たちと話ができた。
- ・普段やらないことや、やってみたいことができて満足。
- ・自分が思っていたよりも積極的に活動できた。
- ・自分が案外知らない人と話せると気づいた。
- ・スノーケリングで魚を近くで見ることができ、追い込み漁では魚に触れることができて楽しかった。
- ・けっこうきついこともあったけど他の教室の人たちや先生達と仲良くできて楽しかった。
- ・4日間も携帯電話をさわらなくても生きていけることが分かった。

## 10 担当者所見

本事業は心因性の不登校児童・生徒を対象に渡嘉敷島の自然の中で「仲間作り」のための自然体験活動をととして参加者の心のふれあいを深めたり、新しい仲間との交流の中で自己有用感を高め、自己や他者を受け入れるきっかけをつかむ場とすることをねらいとして実施した。

昨年度の課題から、炊事活動を減らし、ゆとりの時間を設けるなど、各教室同士の交流が円滑にできるように配慮した。普段は引きこもりがちな生活を送っているため、活動の質・量を参加者の水準に合わせてプログラムを組んだ。特に朝の炊事を軽食に変えたことで参加者からは主要プログラムに取り組みやすかったとの評価を受けた。担当者として今回のキャンプでテーマにあげたのは「欲張りすぎない」ことでした。参加者の実態や現状に配慮することである程度の成果はあったものと考えています。

参加者それぞれが自然に感動したり、出会いや人とのふれあいを喜んだり、普段と違う自分に気づいたり、何らかの形で学校復帰へ向けたきっかけ作りができたものと感じています。現実に戻った参加者の頑張りに期待したい。